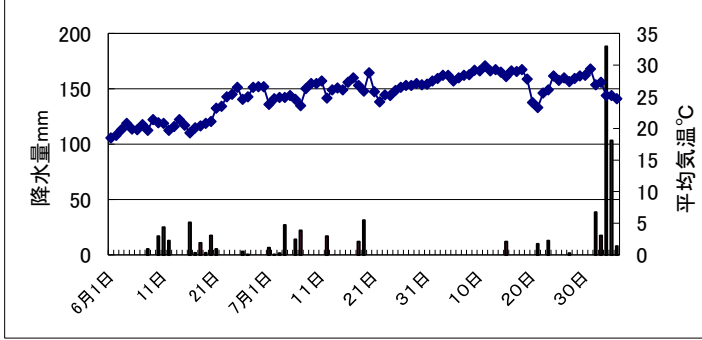


稲作気象台情報第3号

平成23年9月9日
東播磨農業改良普及事業協議会

1 気象概況



降水量 (mm)	7月 月上旬	7月 月中旬	7月 月下旬	8月 月上旬	8月 月中旬	8月 月下旬
今年	71.5	60.5	0.0	0.0	12.0	24.5
平年	57.7	41.6	39.9	17.4	34.2	17.8
平年気温 (°C)	7月 月上旬	7月 月中旬	7月 月下旬	8月 月上旬	8月 月中旬	8月 月下旬
今年	25.2	26.8	26.1	28.3	28.5	27.3
平年	24.4	25.4	27.1	27.8	27.6	27.3
日照時間 (h)	7月 月上旬	7月 月中旬	7月 月下旬	8月 月上旬	8月 月中旬	8月 月下旬
今年	56.9	74.0	67.9	102.4	69.8	76.3
平年	56.6	52.3	82.3	79.7	67.1	92.7

〇7・8月の気象

今年の梅雨明けは7月8日頃と早く(平年より12日早い)、7月中旬までの気温は平年に比べて1~2度高く、日照時間も長く推移しました。しかし、8月下旬になると曇天の日が続き、雨が降らないものの気温はやや低く、日照時間も短い日が続きました。

〇生育

キヌヒカリ、ヒノヒカリとも順調な生育です。
キヌヒカリの出穂期は、平年に比べて2日早く、ヒノヒカリの出穂期は、平年並みです。

2 病害虫の発生状況

(平成23年9月7日調査)

調査項目	調査地点	品種	20株当たり発生頭数					斑点米カメムシ類(本田10回調査)	発生株率(%)		
			ツマグロヨコバイ	ヒメトビウナ	セソウカ	トビイロウナ	カメムシ類		いもち病	紋枯病	縞葉枯病
明石市大久保町江井ヶ島	ヒノヒカリ	14	17	8	0	0	0	0	0	0	
明石市大久保町松陰	ヒノヒカリ	18	14	9	0	0	0	0	0	0	
明石市藤江	ヒノヒカリ	1	5	18	0	0	0	0	0	0	
明石市西鳥羽	キヌヒカリ	1	48	25	0	0	0	0	8	0	
明石市魚住町金ヶ崎	あきたこまち	3	13	13	0	0	0	0	0	0	
明石市二見町東二見	ヒノヒカリ	5	37	28	0	0	0	0	0	0	
播磨町古田	ヒノヒカリ	25	48	30	0	0	0	0	28	0	
稲美町森安	ヒノヒカリ	49	9	4	0	2	9	0	0	0	
稲美町蛸草	きぬむすめ	50	5	0	0	0	0	0	0	0	
稲美町蛸草	ヒノヒカリ	81	6	0	0	1	0	0	0	0	
加古川市平荘町鷺東	キヌヒカリ	8	7	0	0	0	2	0	0	0	
加古川市志方町野尻	ヒノヒカリ	97	37	0	0	0	2	8	0	0	
加古川市志方町永室	ヒノヒカリ	53	18	2	0	0	0	0	4	0	
加古川市平荘町西山	ヒノヒカリ	191	11	0	0	0	1	0	0	0	
加古川市八幡町野村	ヒノヒカリ	30	0	0	0	0	1	0	0	0	
加古川市西神吉町西村	ヒノヒカリ	48	24	0	0	0	1	0	0	0	
高砂市阿弥陀町南池	ヒノヒカリ	4	12	1	0	0	0	0	0	4	
高砂市荒井町小松原	ヒノヒカリ	54	79	6	0	0	0	8	0	8	
高砂市北浜町北脇	キヌヒカリ	0	97	14	0	0	0	0	0	4	
高砂市松陽二丁目	ヒノヒカリ	104	32	1	0	0	0	0	4	8	
加古川市尾上町養田	ヒノヒカリ	12	16	0	0	0	0	0	0	0	
加古川市別府町新野辺北町	ヒノヒカリ	11	18	7	0	0	0	0	4	0	
加古川市野口町水足	ヒノヒカリ	160	37	0	0	0	0	0	0	0	
加古川市平岡町新在家	ヒノヒカリ	1	44	11	0	0	0	0	0	0	
ほ場平均		42.5	26.4	7.4	0.0	0.1	0.7	0.7	2.0	1.0	
〃 (昨年同期)		16.8	10.2	5.6	0.0	0.0	0.7	0.2	3.4	0.0	
発生ほ場率(%)		96	96	63	0	8	25	8	21	17	

〇害虫の発生

トビイロウナ(秋ウナ)の発生は確認されませんでした。

カメムシ類の発生は7カ所で確認され、昨年と同程度の発生となっています。カメムシ類が多いと斑点米の原因となります。

8~9月の高温で、ツマグロヨコバイが局地的に大発生しています。大発生すると止葉や穂にすす病が発生し稔実不良の原因となります。

病気の発生は少ないようですが、局地的にヒメトビウナが媒介する縞葉枯病が発

〇対策

今後も、トビイロウナ(秋ウナ)やカメムシ類の発生に注意が必要です。

ほ場に入ってカメムシ類の発生が確認できるのであれば、ウナの防除と併せて薬剤防除を行います。